

常任委員会審査レポート ～各委員会に付託された議案・陳情～



総務常任委員会

総務常任委員会は、9月14日に開催され、付託された議案4件と陳情1件の審査を行いました。

議案4件のうち、議案第5号は賛成多数により、議案第1号、議案第4号及び議案第9号は賛成総員により原案のとおり可決としました。陳情1件については、賛成少数により不採択となりました。

●議案第1号 令和4年度大網白里市一般会計補正予算(第4号)

概要 コロナ禍における物価高騰に対応した保育・教育施設に対する給食費の負担軽減や公共交通事業者への支援を内容とした地方創生臨時交付金に係る補正予算など
(約2億4,943万円の増額)

Q&A こんな質疑がありました

問 幼稚園、子育て支援に関するICT環境の整備とは具体的にどうか。

答 市立幼稚園4園に対して、1園当たりタブレット4台、液晶テレビ、テレビ台、プロジェクトターを1台ずつ配備し、タブレットは園児の状況などの各種記録や、資料作成に使用し、テレビ、プロジェクトターは、保護者の説明会等に活用することを考えている。

●議案第4号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

概要 地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正により、職員が同一の子について育児休業をすることができ、回数原則1回から2回に緩和されることに伴う所要の改正

●議案第5号 大網白里市議会議員及び大網白里市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について

概要 公職選挙法施行令の一部改正により、国政選挙における公費負担限度

額が引き上げられたことから、これに準じた額の改正

Q&A こんな質疑がありました

問 改正の趣旨として物価が上昇しているとの説明があったが、その根拠は。答 一般財団法人経済調査会の調査を基に行っていると、国会で総務省が答弁している。

●議案第9号 千葉市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び千葉市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

概要 四市複合事務組合と公平委員会に関する事務について、共同処理するための規定の改正

Q&A こんな質疑がありました

問 4市複合事務組合からの申出というところであるが、54市町村と一部事務組合が加入している市町村総合事務組合に4市複合事務組合が入るための改正ということでしょうか。答 千葉市町村総合事務組合は、54市町村、37の一部事務組合と、1広域連合が加入している。ここに新たに4市複合事務組合が加わりたいとの申出があるので、加入すれば、一部事務組合の数が37から38に増えるというかたちになる。

●陳情第5号 不正の感じがなくても

入札監視委員会を設置してもらうための陳情 こんな意見がありました

●入札監視委員会は、入札に関係のない第三者の、競争参加資格の設定確認や、指名競争入札に係る指名の経緯等について定期的な報告を徴し、その内容の審査や意見の具申等を行うものとして、国交省のマニュアルに書かれている。第三者の意見を聴きながら入札の適正化を図ろうということ、国をあげて進めているということ、陳情者は、本市においても進めていこうということであり、当然のことと思う。

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会は、9月15日に開催され、付託された議案3件の審査を行いました。

●議案第6号 大網白里市再生土の埋立て等規制条例の制定について

概要 再生土を利用した土地の埋立てによる被害を防ぐため、再生土の埋立て等を規制するための条例を制定するもの

Q&A こんな質疑がありました

問 罰則について、千葉県条例では罰金30万円以下となっているが、本市の条例案では罰金50万円以下となっている。その根拠は。答 県条例については、再生土の利用を推進する観点から、埋立てについて届出制とし、条件に適合したものを受け付けている。本市の場合は、再生土の埋立てを原則禁止とすることから県条例とは趣旨が若干異なるので、より厳しくするとともに、他市町村との均衡を図った結果50万円としたものである。

入札監視委員会が本市であれば、より適正な入札を行うのに役立つだろうと思う。費用対効果、必要かどうかは行政が判断すればいいことで、議会としては本陳情を採択した上で、あとは担当課に任せるといったのが、陳情に対する態度として適切な考え方なのではないか。

- 委員長 黒須 俊隆
- 副委員長 土屋 忠和
- 委員 上代 和利
- 委員 山下 豊昭
- 委員 蛭田 公二郎
- 委員 小金井 勉

●議案第7号 大網白里市太陽光発電設備と地域環境との調和に関する条例の制定について

概要 太陽光発電設備の設置及び管理に関し必要な事項を定めることにより、災害の拡大防止をはじめ、豊かな自然環境及び市民の生活環境の保全並びに景観の保全など地域環境との調和を図ることを目的とし、これまでのガイドラインに代えて条例を制定するもの

Q&A こんな質疑がありました

問 条例が制定された場合、しっかりと説明会を開催するなど、ていねいな説明をするよう業者に指導していただけるのか。答 条例に沿って、しっかりと説明会を行うように業者に指導していきたい。

問 6月に行ったパブリックコメントでは、どのような意見があったか、反対意見はあったか。意見を受けて何か修正したか。答 16人から48件の意見をいただいた。意見の多くは条例を評価するというものであったが、説明会の範囲を広げてはどうかとの意見もあった。この意見を踏まえて、説明会の対象範囲を広げるように修正している。このほか、環境保全や景観に関する意見等があったものの、条例に反対する意見はなかった。

文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会は、9月15日に開催され、付託された議案2件の審査を行いました。

議案2件については、いずれも賛成総員により原案のとおり可決としました。

●議案第2号 令和4年度大網白里市介護保険特別会計補正予算(第1号)

概要 前年度決算の確定に伴う補正予算(約1億9,467万円の増額)

●議案第3号 令和4年度大網白里市病院事業会計補正予算(第1号)

概要 大網病院において令和5年度当初から給食、産業廃棄物処理等業務を開始するため、令和4年度中に契約を締結するために債務負担行為を設定する

Q&A こんな質疑がありました

問 特別管理産業廃棄物とはどのようなものか。答 医療系廃棄物と呼ばれるものであり、今多いものとしては、発熱外来の関係で発生する廃棄物があるが、通常の診療行為で発生するものもある。感染力のおそれのあるものというふうにとらえていただければと思う。

- 委員長 岡田 憲二
- 副委員長 堀本 孝雄
- 委員 引間 真理子
- 委員 森 建二
- 委員 小倉 利昭
- 委員 宮間 文夫

Q&A こんな質疑がありました

問 委員の構成については。答 学識経験者が1名、関係団体の代表者が4名、関係地区の代表者が1名、公募による市民が2名、その他市長が認める者として県の関係機関から3名の合計11名を予定している。関係団体としては、小中川土地改良区、市商工会、市観光協会及び子どもに関係する団体の4団体を予定している。

問 基本計画はいつ頃になるのか。答 令和6年度中に作り上げたいと考えている。

●議案第8号 大網白里市中池公園再整備基本計画検討委員会条例の制定について

概要 小中池公園再整備に当たり、外部有識者等の幅広い意見に基づいた小中池公園再整備基本計画の策定を目的に、「大網白里市中池公園再整備基本計画検討委員会」を設置するため、新たに条例を制定するもの

- 委員長 中野 修
- 副委員長 秋葉 好美
- 委員 林 正清子
- 委員 石渡 登志男
- 委員 田辺 正弘